

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光客等誘客促進・受入体制強化事業	H24 ～ H30					
	①	市域景観形成強化事業	H24 ～ H26	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法を用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。	市道植樹帯防草工事実施	市道植樹帯防草工事実施完了 ・整備路線数 1路線 ・整備延長 L=597m	防草除去を行いカラー舗装をすることによって歩行者及び自転車の安全と市道の景観形成を行う。	
	②	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24 ～ H26	散策道、木製階段等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘客促進を図る。	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・石畳参道及び戦争遺跡修復工事 ・周辺整備工事測量委託業務 ・周辺整備工事実施設計委託業務 ・周辺整備工事施工監理委託業務	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備完了	世界遺産斎場御嶽だけでなく、周辺地域や観光施設等とリンクしたエリアマネジメントを目指すことで、より観光客にとって味わい深い観光地づくりを目指す。	
	③	なんじょうハートプロジェクト推進事業	H24 ～ H26	地域資源を生かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり・市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。	・PRグッズ等の制作 ・PRイベントの開催 ・ラッピングカーの活用による市内外へのPR活動	・PRグッズ等の制作(3点) ・PRイベントへの誘客(2,000人) ・ラッピングカーでの出勤回数(10回)	市キャラクター「なんじい」を活用して、本事業で構築してきた南城市ブランドの更なるPRを行う。	
	④	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H30	本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持を図り、芝生管理を図るための人材を育成する。	・芝生管理に精通した人材の育成 ・良質な状態での芝生の維持管理	・芝生管理人の雇用(1人) ・サッカーキャンプ等の受け入れ(平成25年度受入チーム数 3チーム) ・平成26年7月までしりーグ公式戦開催予定	芝生管理人を継続雇用しながら、芝生を良質な状態で維持管理していき、引き続きプロサッカーチームのキャンプを受け入れていく。	
	⑤	観光交流サイン整備事業	H25 ～ H28	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	・道路愛称板の設置工事 ・サイン設置工事 ・観光関連施設への誘導案内版の整備	・道路愛称板の設置工事完了 20箇所 ・サイン設置完了 8ヶ所 ・観光誘導案内板の整備完了:15ヶ所	(今後の展開方針) H27年度～:集落域文化遺産サイン整備、観光誘導案内板の整備	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
⑥	パ 細	⑥ デマンド交通実証実験事業	H24 ～ H27	デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25～H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	・地域公共交通会議の開催 ・実証実験実施	・地域公共交通会議の開催:3回 ・乗車人数(1日):150人 ・有償実証事業の委託先の選定	(今後の展開方針) H27年度:有償実証事業 H28年度:本格運行	
⑦		⑦ 観光振興計画(前期・中期)評価・検証及びアクションプラン策定業務	H26	南城市観光振興計画(前期・中期)の評価・検証を行い、南城市観光振興計画における実施済みの取組みに対する評価・検証、実施課題の整理、観光客動態調査等を実施し、南城市として目指す観光の方向性を確実に実行していくための方策を位置づける。	・市内観光事業者の状況把握 ・観光客の動向把握 ・広域での状況把握 ・社会動向の把握	・南城市観光振興計画の評価・検証 ・アクションプラン(実施計画)の策定	(今後の展開方針) 評価・検証結果及びアクションプランに基づき南城市らしい観光の推進を図る。	
⑧		⑧ 南城市クロスメディア情報発信事業	H26	南城市の観光産業振興に資するため、本市の有する「観光コンテンツ」を効果的に発信するための手段を構築し、南城市観光に関する情報を国内外へ配信することにより、南城市の魅力を広げるとともに、周遊型観光の推進、歴史・文化、体験滞在、癒しをテーマとした観光振興を図る。	観光ポータルサイトの構築(PC、スマホ)及び多言語化対応(英語・中国語・韓国語)	・南城市観光情報の配信開始(事前・事中情報の発信) ・外国人観光客への情報の配信開始	(今後の展開方針) 目標アクセス数:10,000PV/月	
⑨		⑨ 尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H30	平成25年度で策定される予定の「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。平成26年度は尚巴志を普及していく事業、尚巴志スピリットを育成する事業、エコミュージアムの基礎を築く事業などを行う。	1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 「尚巴志のまちづくりコンサート&シンポジウム」 「尚巴志のまちづくりコンサート&シンポジウム」 「紙芝居学校アウトリーチ」 「紙芝居学校アウトリーチ」 「文化講演会」 「文化講演会」 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 「観光タイアップ事業」 「地域孫会議事業」 「琉歌募集事業」	1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 「尚巴志のまちづくりコンサート&シンポジウム」 ・目標客数:200名 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・紙芝居の制作 ・市内9小学校のアウトリーチ 「文化講演会」 ・目標客数:100名 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 「観光タイアップ事業」 「グスク巡りコンサート」 ・合計観客動員数:200名 「観光タイアップ事業」 ・目標客数:500名 「琉歌募集事業」 ・応募者数:150首	(今後の展開方針) 1.「尚巴志」の普及・啓発・情報発信 H27年度:尚巴志講座 H28年度:尚巴志グッズの開発 H29年度:尚巴志副読本の発刊 H30年度:尚巴志まつりの実施 2. 地域興しの人材育成 H27年度:視野の醸成 H28年度:海外派遣 H29年度:地域デザインと人材配置 H30年度:実践事業 3. エコミュージアムの創造 H27年度:尚巴志関連トレイル作成 H28年度:デジタルミュージアム作成 H29年度:マーケティング H30年度:マーケティング	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
⑩	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・土地所有者及び利害関係者説明会 ・事業認定申請および土地取得に係る手続き等、関係機関調整 ・観光拠点地として整備する用地取得業務(161,000千円)	・用地取得率87%(内H25繰越取得分28%) ・土地所有者及び利害関係者説明会の実施 ・事業認定申請の提出。	(今後の展開方針) H27年度:実施設計・用地取得予定 (11,000㎡) H28年度:造成、面整備		
⑪	観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25 ～ H26	住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。	観光交流拠点施設の実施設計及び整備工事	観光交流拠点施設完成	(今後の展開方針) H27年度:体験交流施設の供用開始(H27年5月予定) ○観光客の誘客に関する交流事業について ・ハーリー体験 ・地域の伝統芸能体験(エイサー・ヌーハレー・アヤゲ) ・三味線教室 ・青年会 ・女性会との交流(地域の伝統料理体験) ○防災について台風・各警報発令時の一時避難		
⑫	世界遺産「斎場御嶽」ガイダンス施設整備事業	H26 ～ H28	世界遺産斎場御嶽を3Dデータとして整備し、既存施設「がんじゅう駅・南城」及び「緑の館セーファ」を活用し「斎場御嶽ガイダンス施設」として再整備する。 斎場御嶽の現状をデジタルデータ化することで、斎場御嶽へ入域出来ない観光客へのサービスの向上と災害時の復旧に寄与する。又、歴史的な背景をビジュアル的に演出することにより、斎場御嶽にまつわる伝説や信仰を、“ものがたる”ことにより、本市を起点とする県域観光の促進を図る。	調査・測量及び斎場御嶽の3Dデータ化及び映像の作成	・斎場御嶽調査及び測量業務の完了 ・3Dデータ化 ・映像コンテンツの作成	(今後の展開方針) H27年度:ガイダンス施設整備		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			農水産業活性化プロジェクト事業	H24 ～ H30					
	①		蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ～ H28	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。	既存の農業用施設強化、防風壁の設置を行い、台風等災害に強い農業を推進する。	既存の農業用施設等の整備(20ヶ所)	(今後の展開方針) 施設整備の継続 H26年度:施設の整備20ヶ所 H27年度:施設の整備5ヶ所 H28年度:施設の整備5ヶ所	
	②		水溶性天然ガス利活用案策定事業	H25 ～ H26	市内から採掘される水溶性天然ガスを利用した、一次産業分野への活用案を策定する。	南城市水溶性天然ガス利活用案の概要版を策定しており、さらに概要版に基づき詳細版の作成する。	南城市水溶性天然ガス利活用案の詳細版策定完了	(今後の展開方針) 排熱を利用した農業、温泉水を活用した養殖、効率的設備・システムやLED等を活用した植物工場型事業を目指す。	
	③		つくり育てる漁業振興支援事業	H26	獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を目指し、水産物の漁獲高や生産高を増やすことに対し支援を行う。	・安定した漁獲及び生産高の向上を図るため、漁場や養殖場等の整備への補助。 ・漁獲高及び生産高の増加、販路拡大を目標にした計画書の作成。	・漁場及び養殖場等の整備完了 ・漁獲高及び生産高の増加、販路拡大を目標にした計画書完成。	売上高増による、雇用促進や漁協による水産事業拡大を図る。	
	④		優良繁殖牛リース支援事業	H26 ～ H30	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛貸付頭数:50頭/年 優良自家保留牛の確保:1頭/5年(1頭あたり)	優良母牛50頭導入及び貸付開始(導入初年度のため下記指標は次年度以降から) ・分娩間隔の短縮 ・繁殖雌牛の若齢化 ・飼養頭数の増加等	(今後の展開方針) H27年度～ 優良母牛貸付頭数:50頭/年 優良自家保留牛の確保:1頭/5年(1頭あたり)	
	⑤		畜産悪臭対策普及推進事業	H26 ～ H27	畜産悪臭対策について実証実験を行う。その後、畜産農家に対し、悪臭対策に配慮した持続可能な経営技術の普及を行う。	実証実験	実証実験の効果検証	(今後の展開方針) H27年度～ 市内農家への悪臭対策技術普及	
3			防災安全基盤強化事業	H24 ～ H26					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	①	台風・大雨浸水被害対策事業	H24 ～ H26	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルート調査を実施する。	南城市東部地区雨水流域調査	南城市東部地区雨水流域調査完了 玉城・知念 A = 463ha	今後、調査結果に基づいて南城市全域の排水路計画を予定しています。	
	②	水難救助車整備事業	H26	各種水難救助用の資機材を装備した、水難救助車両を購入し、迅速・確実な水難救助活動を行うことで、観光客等を水難事故から守り、防災体制の強化を図る。	水難救助車整備：1台	水難救助車の納車：1台 納車後は非常時に備え日頃から訓練を実施し、万全の対策を期する。	H27年度：運用開始 水難救助車導入後は、住民及び観光客の水難事故防止に取り組み、事故発生時は迅速に対応する。	
	③	久高地区津波避難施設整備事業	H26	久高島は標高が低く、津波災害が起きた際甚大な被害が想定されるため、津波避難施設(防災タワー)を建設し、住民や観光客の安全、安心を確保する。	津波避難施設(防災タワー)の工事	津波避難施設(防災タワー)の完成	(今後の展開方針) H27年度：供用開始	
4		心豊かな人材育成事業	H24 ～ H29					
	①	幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24 ～ H26	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	空調設備整備工事	・幼稚園 保育室 1室 冷暖房設備2台設置完了 ・中学校 音楽室、美術室 冷暖房設備4台設置完了	安全・快適な学習空間保持できるよう計画的に空調設備の整備を行う。	

H26活動目標(指標)：平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標)：平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H26活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
②	小中学校パソコン機器整備事業	H25～H29	学校教育振興に資する学校教育用パソコンを小・中学校へ導入することで、児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得や、また、様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことにより、情報化社会に即応する技能を身につけた人材の育成を図る。	市立2小学校コンピューター教室パソコン及び附属機器等一式整備	市立2小学校コンピューター教室パソコン及び附属機器等一式整備完了 ・ブートサーバー4台、ADサーバー4台、プリンター2台、プロジェクター2台、パソコン82台、ソフトウェア等付属品一式	(今後の展開方針) 市立小中学校14校PC教室パソコン機器等一式を年次的に整備 H26年度:2小学校整備 H27年度:3小学校整備 H28年度:2中学校整備 H29年度:2小学校整備		
③	学習支援員配置事業	H25～H29	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的として、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・小学校学習支援員:8名 ・中学校学習支援員:4名の配置	・小学校:8校、支援児童数294名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の児童を支援する。) ・中学校:4校、支援生徒数135名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)	(今後の展開方針) 平成27年度～29年度 学習支援員の配置		
④	特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25～H29	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の受入れ機会が増加しているところであります。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携の上、適切な特別支援教育を行う。	市立3幼稚園、8小学校、4中学校へ特別支援教育支援員、障害児ヘルパーの配置	・3幼稚園へ障害児ヘルパー(保育)8名、(預かり保育)3名配置 ・8小学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー24名配置 ・4中学校へ障害児ヘルパー10名配置	(今後の展開方針) 平成27年度～29年度 特別支援教育・障害児ヘルパーの配置		
5	地域文化の継承と生涯学習実践事業	H24～H29						

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ H29	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・専門委員会議の開催 御嶽・グスク 5回 資料集戦争 5回 ・調査資料の収集及び調査	・御嶽・グスク 調査個票の完成 ・資料集戦争 国立国会図書館より米国資料の収集	(今後の展開方針) H27年度:御嶽・グスク編発刊 H28年度:戦争編執筆依頼 H29年度:戦争編発刊		
②	文化センター機能強化事業	H25 ～ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、空調及びホールの照明機器の整備を行う。	工事入札契約、工事着手	文化センター機能整備の実施、完了	(今後の展開方針) H27年度:備品等 H28年度:備品等 ・文化芸術創造発信の拠点として活用 ・県内唯一の音楽専用ホールとしての活用を促進 ・文化芸術のさらなる発展への寄与		
③	シュガーホール国際音楽祭事業(20周年記念事業)	H26	沖縄県内唯一の音楽専用ホールとして、これまで多くの創造的な文化事業を展開し、おきなわのシュガーホールとして知られるようになってきたこれまで実績を生かし、多様な目的をもって訪れる県内外の人々をターゲットとし、本市の自然・歴史とホールの文化芸術事業を連携させた全国的・国際的な一連事業を実施していく。	主要イベントへの運営費補助 9件	・新人演奏会受賞者による公演 ・優れた国内・海外演奏家による公演 ・市民合唱団と県内外合唱団の交流演奏会 ・オーケストラと伝統芸能の競演 ・海外伝統芸能と地域民俗芸能の競演 ・創作オペラの制作	(今後の展開方針) 今後、シュガーホールを活用し、多彩な事業を展開していく。		
6	福寿のまちづくり事業	H25 ～ H28						
①	健康づくり支援調査検証事業	H25 ～ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催、公園等への健康器具等の設置及び、生活習慣病予防対策、保健指導等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	・講演会、健康体操等の実施 34回 ・健康器具の設置工事設計及び3公園等への健康器具設置 ・中学生を対象とした健康調査及び保健指導の実施	・講演会、健康体操等の実施及び効果の評価検証 ・3公園等への健康器具の設置完了 ・中学生(約500名)を対象とした保健指導の評価検証	(今後の展開方針) 事業効果を検証しながら市民の健康づくりを支援する。		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。